

亀岡市の公共交通に関するアンケート調査

「地区別行き先・目的別流動状況」

地区別集計は、以下の居住地区別に実施しており表 1 に示す。

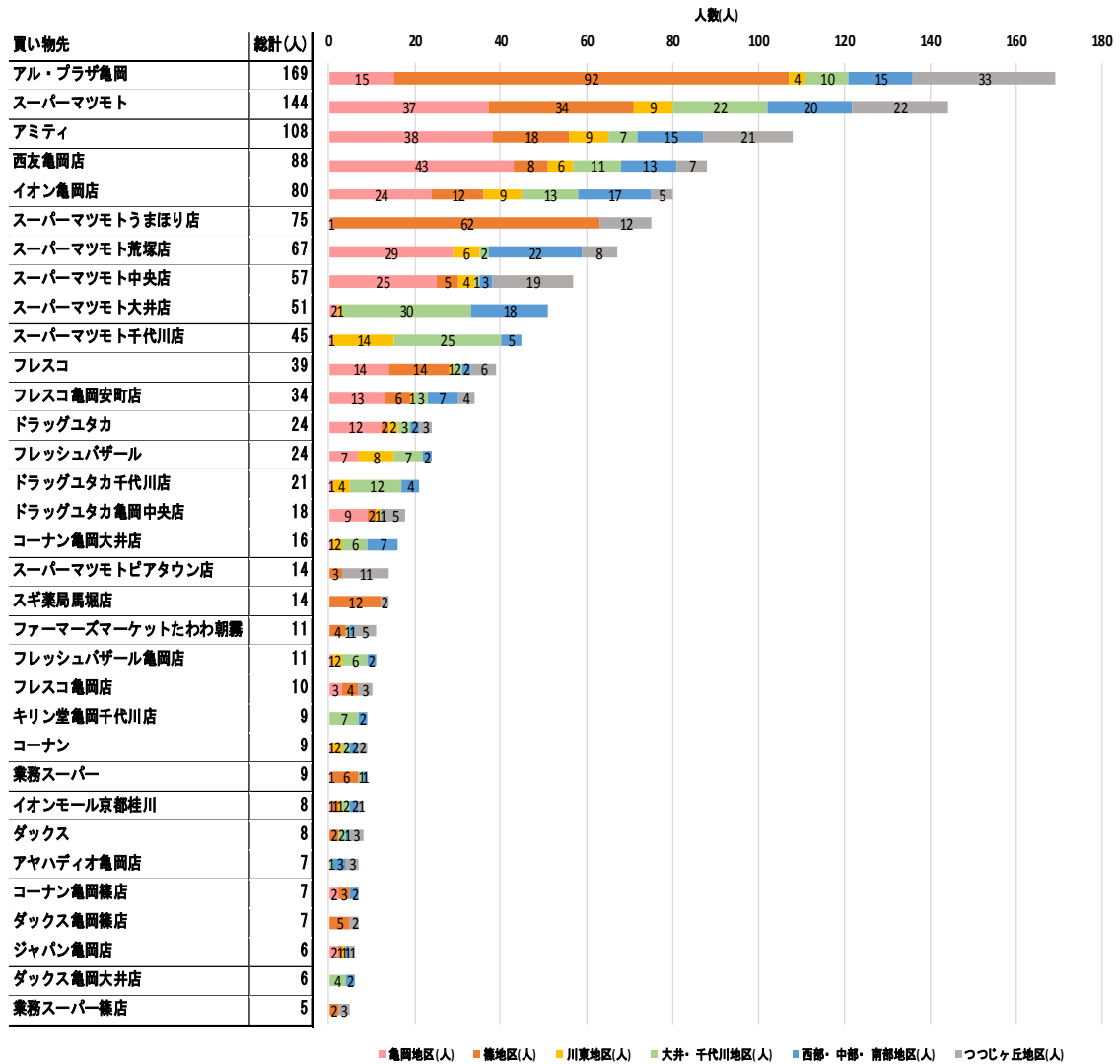
表 1 地区別自治会構成

亀岡地区	篠地区	川東地区	大井・千代川地区	西部・中部・南部地区	つつじヶ丘地区
亀岡地区東部自治会	篠町自治会	馬路町自治会	大井町自治会	東別院町自治会	東つつじヶ丘自治会
亀岡地区中部自治会		旭町自治会	千代川町自治会	西別院町自治会	西つつじヶ丘自治会
亀岡地区西部自治会		千歳町自治会		曾我部町自治会	南つつじヶ丘自治会
		河原林町自治会		吉川町自治会	
		保津町自治会		蔦田野町自治会	
				本梅町自治会	
				畑野町自治会	
				宮前町自治会	
				東本梅町自治会	

1. 「買い物」での主な行き先（回答者数：526人）

亀岡市全体において、「買い物」での主な行き先を図1に示す。

○「アル・プラザ亀岡」が最も多く、そのうち半数以上が篠地区の方で占めている。
○次いで「アミティ」や「スーパーマツモト」への買い物客が多い。



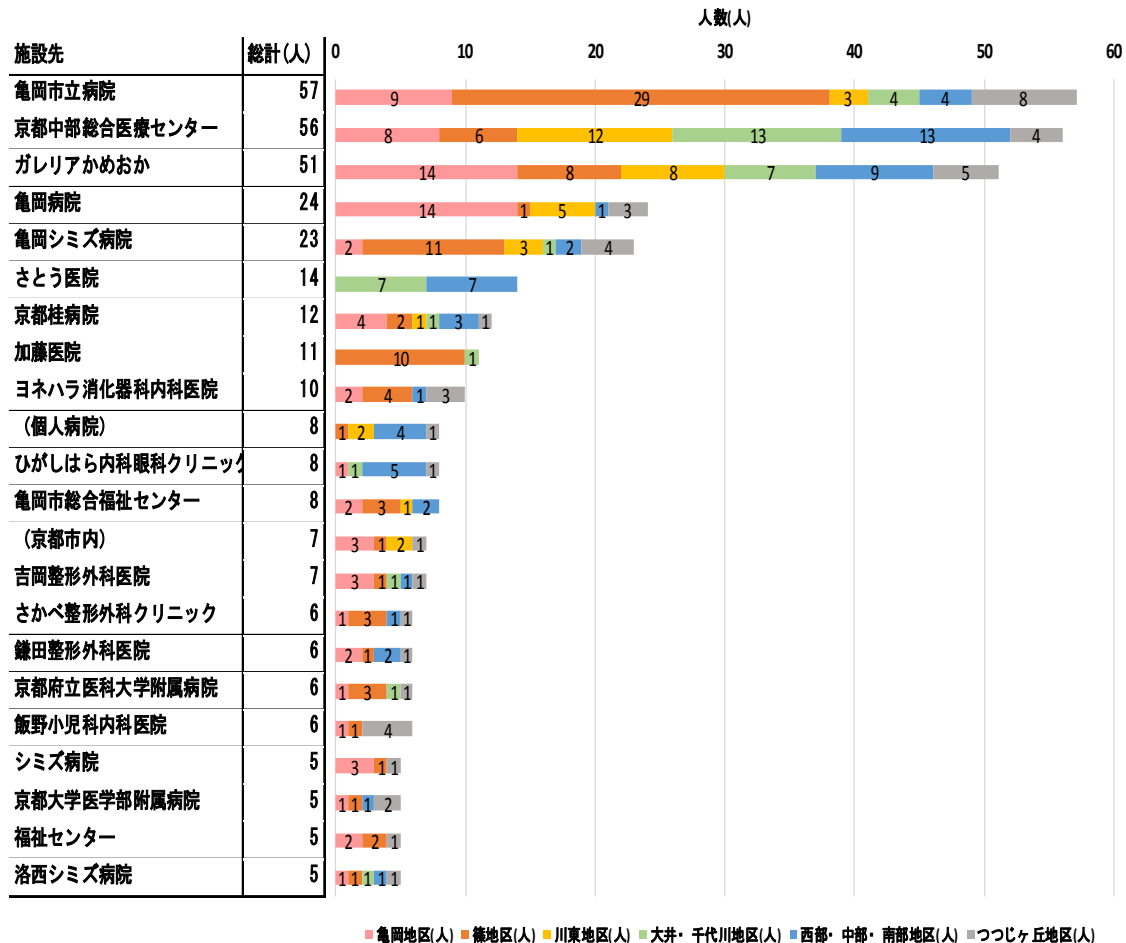
- ※ すべての交通手段の合計（自動車、バス、タクシー、鉄道、自転車、徒歩など）
- ※ 亀岡市全体で人数（回答数）が5人以上のみを図示
- ※ 主な買い物先のうち、店名の記載がなかった回答は全て集約している。
（例：スーパーマツモト、フレスコ、コーナンなど）

図1 「買い物」での主な行き先（亀岡市全体）

2. 「通院・福祉・地域活動」での主な行き先（回答者数：330人）

亀岡市全体において、「通院・福祉・地域活動」での主な行き先を図2に示す。

- 「亀岡市立病院」が最も多く、そのうち半数以上が篠地区の方で占めている。
 ○次いで「京都中部総合医療センター」や「ガレリアかめおか」へ訪れる人が多い。



※ すべての交通手段の合計（自動車、バス、タクシー、鉄道、自転車、徒歩など）

※ 亀岡市全体で人数（回答数）が5人以上のみを図示

図2 「通院・福祉・地域活動」での主な行き先（亀岡市全体）

3. 地区別の主な行き先

よく利用される行き先について、各地区で回答数が多かった上位3位までの店舗、病院、施設等と、その地区内で占める割合を表2に示す。

表2 地区別の主な行き先

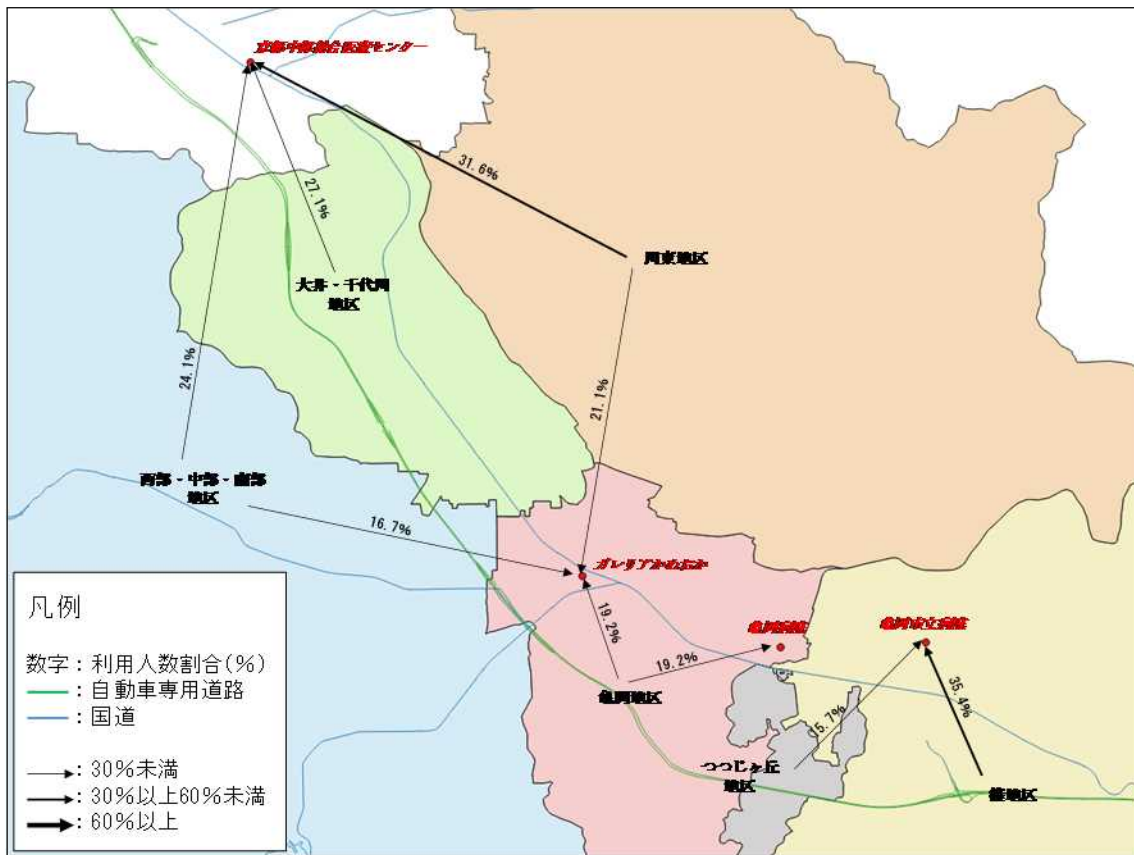
地区名	買い物先	病院や福祉施設等
亀岡地区	1. 西友亀岡店 (35.2%) 2. アミティ (31.1%) 3. スーパーマツモト (30.3%)	1. ガレリアかめおか (19.2%) 亀岡病院 (19.2%) 2. 亀岡市立病院 (12.3%)
篠地区	1. アル・プラザ亀岡 (70.8%) 2. スーパーマツモトうまほり店 (47.7%) 3. スーパーマツモト (26.2%)	1. 亀岡市立病院 (35.4%) 2. 亀岡シミズ病院 (13.4%) 3. 加藤医院 (12.2%)
川東地区	1. スーパーマツモト千代川店 (35.9%) 2. アミティ (23.1%) イオン亀岡店 (23.1%) スーパーマツモト (23.1%)	1. 京都中部総合医療センター (31.6%) 2. ガレリアかめおか (21.1%) 3. 亀岡病院 (13.2%)
大井・千代川地区	1. スーパーマツモト大井店 (34.9%) 2. スーパーマツモト千代川店 (29.1%) 3. スーパーマツモト (25.6%)	1. 京都中部総合医療センター (27.1%) 2. ガレリアかめおか (14.6%) さとう医院 (14.6%)
西部・中部・南部地区	1. スーパーマツモト荒塚店 (26.8%) 2. スーパーマツモト (24.4%) 3. スーパーマツモト大井店 (22.0%)	1. 京都中部総合医療センター (24.1%) 2. ガレリアかめおか (16.7%) 3. さとう医院 (13.0%)
つつじヶ丘地区	1. アル・プラザ亀岡 (41.8%) 2. スーパーマツモト (27.8%) 3. アミティ (26.6%)	1. 亀岡市立病院 (15.7%) 2. ガレリアかめおか (9.8%) 3. 亀岡シミズ病院 (7.8%) 京都中部総合医療センター (7.8%) 飯野小児科内科医院 (7.8%)

※ () 内の割合は、複数回答した回答数ではなく、回答者数に対する割合

※ 各集計結果では「不明・無回答」を除く

② 通院・福祉・地域活動

- 「川東地区」「大井・千代川地区」「西部・中部・南部地区」は、南丹市の“京都中部総合医療センター”へ行く割合は比較的高い。
- ただし、「川東地区」「西部・中部・南部地区」は“ガレリアかめおか”への流動も20%前後の割合を占める。
- 「亀岡地区」は“ガレリアかめおか”と“亀岡病院”への流動、「篠地区」「つつじヶ丘地区」は“亀岡市立病院”への流動だけが15%以上の利用がある。



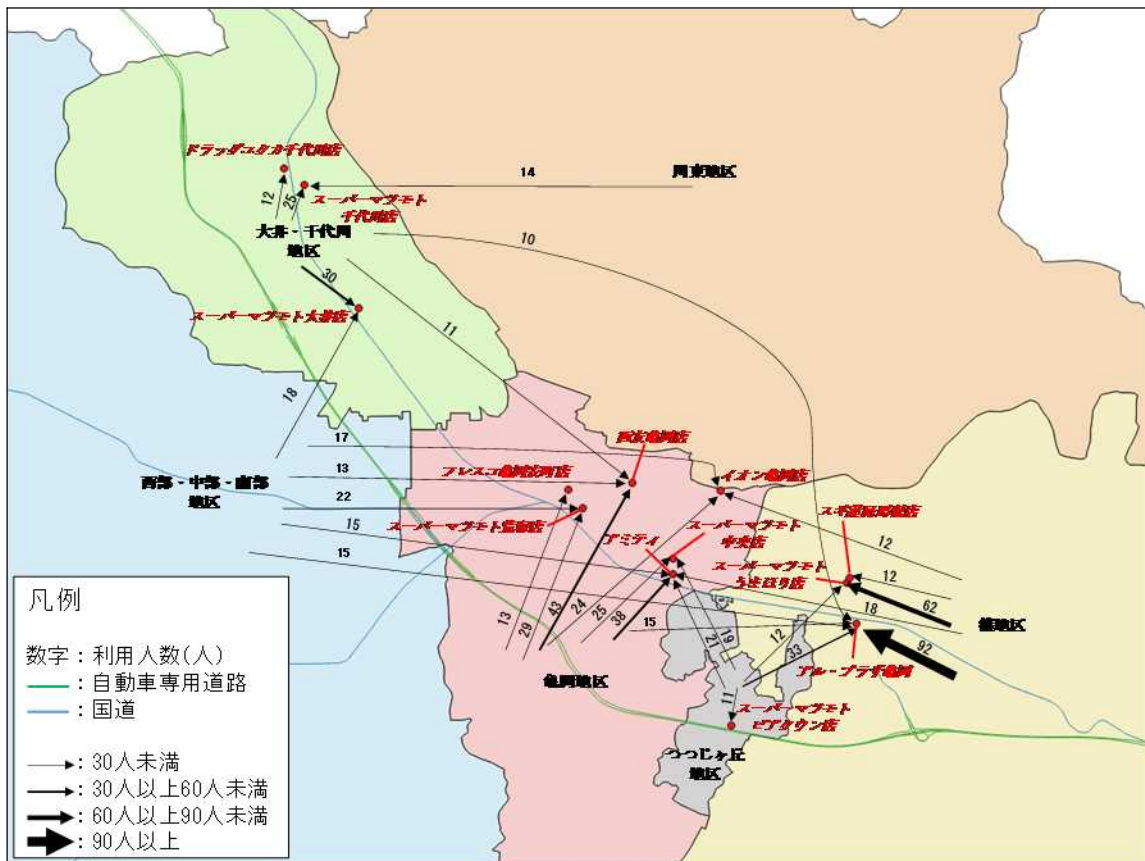
※各地区内で占める割合が15%以上の流動を図示

図4 「通院・福祉・地域活動」での主な行き先への流動状況（地区内で占める割合）

5. 目的別の流動状況（人数）

① 買い物

- 「買い物」において、各地区で主な行き先は異なっているものの、比較的住まいに近い店に行く傾向が強い。
- ただし、「川東地区」「西部・中部・南部地区」のように、「亀岡地区」「篠地区」「大井・千代川地区」に立地する買い物施設が多く利用されている。
- 「篠地区」は“アル・プラザ亀岡”や“スーパーマツモトうまほり店”の2施設に利用者が集中しているのに対し、「亀岡地区」「大井・千代川地区」「西部・中部・南部地区」「つつじヶ丘地区」では行き先にばらつきがある。
- 特に、「亀岡地区」は買い物施設が多いこともあり、ばらつきが大きい。
- 一方、「川東地区」での10人以上の流動は、“スーパーマツモト千代川店”の1つのみである。



※各地区での人数（回答数）が10人以上の流動を図示

図5 「買い物」での主な行き先への流動状況（人数）

② 通院・福祉・地域活動

- 「買い物」での流動と同様に「通院・福祉・地域活動」でも比較的住まいに近い病院や施設に行く傾向が強い。
- 「川東地区」「大井・千代川地区」「西部・中部・南部地区」は、南丹市の“京都中部総合医療センター”へ行く人が多い。
- 「篠地区」は病院3施設への流動が存在するが、その中でも“亀岡市立病院”への利用が最も多い。
- 「亀岡地区」は“ガレリアかめおか”と“亀岡病院”への流動があり、同程度の利用がある。
- 「通院・福祉・地域活動」での主な行き先において、利用が多い（利用者が集中）のは、いずれも病院が挙げられている。



※各地区での人数（回答数）が10人以上の流動を図示

図6 「通院・福祉・地域活動」での主な行き先への流動状況（人数）